



# 北海道情報大学 同窓会会報

第10号

発行  
北海道情報大学  
同窓会

同窓生との絆を大切に  
したいと考えています

北海道情報大学

学長 長谷川

淳



「情報化社会の新しい大学と学問の創造」を建学の理念とし、大学名に「情報」を取入れて、平成元年に開学した北海道情報大学も、24年目の歴史を刻んでいます。この間、ICT社会の進展に貢献する多くの有能な人材（同窓生の皆さん）が社会に巣立って行かれて、国内外での多方面で活躍されています。このことは、本学の関係者一同にとり誠に嬉しいことであり、また等しく誇りに思っているところです。

1期生の皆さんが卒業されてから来年の3月で20年となりますから、同窓会も間もなく創立20周年を迎え

る訳で、同窓生の皆さんにとっても感慨深いものと思います。種々の心づもりで、内々の準備をされておられるのではないかと拝察しております。また、そのような中で、同窓会組織の今後の在り方、さらなる活性化について、種々の検討や取組をされていることに、敬意を表します。

北海道情報大学としても、同窓生の皆さんとの絆は大切であり、強固なものとしてたいと願っています。そのため、同窓会役員の皆様のご協力を頂きながら、大学としても、同窓生名簿の整備の在り方（必要性や具体的方策等）や同窓生の皆さんとの協力関係の活性化方策等について、真摯な検討を行い、具体的な取組を始めているところです。「言葉だけで、実質が伴っていないではないか」と評価されないよう、肝に銘じています。

北海道情報大学は、平成25年度から一つの大きな飛躍をすることとなりました。それは学部・学科の改組・改編ですが、大きく3つのポイントがあります。第一は新しく医療情報学部を開設すること、第二は入学生定員を増加すること、第三はこれらに伴い各学科の教育プログラムに一部改編を行うことです。医療情報学部は、従来の経営情報

学部医療情報学部を基礎として、それを発展的に改組して創設します。

医療情報学部には、医療情報学科（入学生定員80名）の1学科が置かれ、その下にメデイカル・マネジメント専攻とメデイカル・サイエンス専攻の2専攻が置かれます（専攻別に学生定員は配しません）。これに伴い、本学は3学部4学科（専攻数は医療情報学科と情報メデイア学科の2学科計で4専攻）と1大学院研究科、通信教育部を持つ大学となります。経営情報学部医療情報学科は、組織としては廃止ですが、在学生が卒業するまで教育上の学科として存続します。

入学生定員は、経営情報学部の先端経営学科が70名（10名増）、同システム情報学科が110名（20名増）、医療情報学部医療情報学科が80名（10名増）、情報メデイア学部情報メデイア学科のメデイアデザイン専攻が90名（増減なし）、メデイアテクノロジ専攻が100名（30名増）となり、大学全体で450名（70名増）となります。過去3年間の本学入学者数の平均値は455名です。新しい入学生定員は丁度この水準となります。しかし、18歳人口の減少が見込まれ、入学生定員を充足できない大学が稀ではない現況を

考えると、何らかの手立てなしに、この入学生定員を充足し続けるのは困難と考えられます。そのため、教育プログラムに対する一部改編を、同時に行うこととしました。本学では各学科ともモデル履修コースを設定し、学生の勉学の指針としていますが、従来からあるコースに加えて、先端経営学科では新しくサービスマネジメントコースを、システム情報学科では新しく宇宙情報システムコースと観光情報システムコースを開設します。また、医療情報学科では、メデイカル・マネジメント専攻に従来の診療情報管理コースに加えて医療経営コースを、メデイカル・サイエンス専攻に従来の医療情報システムコース、医療情報テクノロジコースに加えて健康情報科学コースを開設します。さらに、情報メデイア学科のメデイアテクノロジ専攻に新しくケイタイアプリケーションコースを加えます。

社会が求める人材の育成に向けて、勢いのあるうちに新しい展開を図ることは、長い目で見たときに本学にとって極めて重要なことです。今回の改組・改編はその一環とらえていただければ幸いです。

本学が社会から求められている役割を果たし、自らが使命と考えていることを達成するためには、同窓生の皆様のお力添えが何よりも増して必要です。これからも、よろしくお願いたします。